

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 公民館の利用許可に関すること。 (2) 公民館の維持管理に関すること。 (3) 利用料金の収受に関すること。 (4) 広く市民の生涯学習を推進するために必要な事業を行うこと。

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P60(利用率) 【利用率(全体)】 23.4% ※ 【利用率(部屋別)】 ・大ホール:30.2% ・研修室1:22.0% ・研修室2:25.4% ・和室(1): 26.5% ・和室(2): 17.8% ・料理実習室:5.3%	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
			②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P61(利用人数) 【利用人数(全体)】 17,155人 (R1)44,687人 【利用人数(部屋別)】 ・大ホール:7,739人 ・研修室1: 2,400人 ・研修室2: 2,730人 ・和室(1): 2,098人 ・和室(2): 1,761人 ・料理実習室:427人	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P61～P63参照(文化事業一覧) ○第31回養正公民館まつり1回開催(展示・ステージ部門合同開催 延べ約403人) ○地域意識醸成事業(地域交流・連携事業―養正つながるプロジェクト) ・親育ち4.3.6.3たじみプラン協賛事業「ひよこのひろば『えいごでリトミック』」2講座6回開催 延べ125人 ・養正・脇之島・市之倉3館連携事業「家族の日」計4回 延べ37人 ・「健康ひろば～健康について考えよう!～」展示開催200人(養正健康ファスティバル2020を変更) ・たじみ子どもの権利の日協賛事業「多治見高校生徒によるサイエンスショー」2回 延べ40人 ・こころあったかクリスマス サンタさんからのおくりものメッセージ飾り 1回1か月開催 延べ約283人 (＊小学生ボランティア育成活動 活動6回 延べ8人)	仕様書以上 13点	・公民館まつりは、コロナ感染予防のため展示とステージ部門を同日に開催。遊びのコーナーや多治見中学校の協力、高校生の作品展示もできた。児童には全員に出展証を渡し意欲向上に繋がっている。開催規模を縮小したが家族で来館されるなど新規利用につながった。 ・「ひよこのひろば」は、リトミックで多くの親子が参加した。地域ボランティアによる読み聞かせも行い、コロナ禍においても地域での仲間づくりや楽しい子育てを支援する事業とすることができた。 ・「家族の日」は、自粛生活の中で、安心して家族で利用できる新たな取組みとして好評となり、新規利用に繋がった。コロナ禍での中止や延期に対し、3館が連携して今出来る事業を周知した。 ・「健康ひろば」は、「健康フェスティバル2020」の代替え事業として2週間の展示とアンケート、健康クイズなどを行い、地域の健康づくりの推進に努めた。 ・「サイエンスショー」は、多治見高校の生徒と地域の小学生が交流のなかで双方に学びのある機会となった。コロナ感染予防策を講じる必要から工夫された内容となった。 ・こころあったかクリスマスは、地域の方からは多くのプレゼントが提供され、小学生ボランティアの活躍も継続できた。地域全体が関る交流事業となった。	13点
			(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P64～P75参照(文化事業一覧) ○こどもの大学: ・子ども大学通年講座 チャレンジ隊1講座5回開催 子ども延べ116人、地域ボランティア延べ 36人 ・児童館共催事業クリスマス飾りづくり 1回開催 延べ 33人 ・夏休み親子講座折り紙講座 1回開催 9人 ○大人の大学: ・サロン「お茶の時間ですよ」 通年事業(交流事業含)毎週月曜日16回開催 延べ388人 ・養正元気サロン(らくらく筋力アップ体操)通年14回開催 延べ514人、健康講座1回開催 31人 ・10歳若返る! 声を出す健康法 2講座11回開催 延べ453人 ・ピアノの日 2回開催 延べ8人、スポーツ講座卓球の日 2講座 6回開催 延べ115人 ・大人の知的好奇心探索シリーズ古典の世界へ「枕草子④」8回開催 延べ176人、寄せ植え講座1回21人、手づくりみそ講座2回 延べ16人 ○連携事業 養正公民館コンサートVol.74古田友哉とめぐるた・じ・ミュージック「フーガ～苦悩から歓喜へ～」1回開催71人 「第27回戦争と平和展」ギャラリーようせい関連記念事業 1回開催 延べ50人 ○ギャラリーようせい年間15回開催 /○ VIVA!マナビバ! 講座9講座開催150人	期待以上 12点	自主事業では、いずれも感染症対策を徹底して実施された。 ・子ども大学は、地域ボランティアの協力を得て一年を通し異年齢グループによる体験学習講座実施。 ・高齢者向けサロンは、感染者が落ち着いた10月より地域ボランティアの協力のもと、地域に開かれたサロンとして実施。幼稚園との交流事業は季節の贈り物を通じた取り組みとなった。 ・養正元気サロンは、たじみハッピープラン健康づくり推進事業として健康づくり推進員の協力のもと、継続開催した。 ・声を出す健康法は、安全安心な環境で実施。講師によるミニコンサートも行い、学習意欲の維持向上に努めた。同講師が指導する他館との情報共有でスムーズな運営を行った。 スポーツ講座として卓球講座を開催。個別指導が受けられるため上達を目指す受講生が増えており、利用者増と活性化に期待。 ・「古田友哉とめぐるた・じ・ミュージック」は連携事業として、また地元の若手の音楽家を支援するとして開催。長い自粛生活の中、生演奏を聴けた喜びを来場者が共有でき、アンケートでは高評価につながっている。 ・戦争と平和展は展示との連携で、8月15日に戦争体験者による講演を実施。聴講者が平和の大切さを共有し、新たな利用に繋がった。	12点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P76(①清掃) 施設内清掃(基準:毎日)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			年次報告書P76(②保守・点検) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施、 ・自動扉装置保守管理業務(基準:年2回)・・・年2回実施 ・業者による改正フロン法に伴う冷暖房機点検(基準:3年に1回)1回実施 ・家用電気工作物保安管理(基準:月例毎月、年次1回)・・・月例12回、年1回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P77(③保安・警備) 機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			年次報告書P.77(④小規模修繕) 有償修理 全8件 総額625,438円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ホール照明の一部LED化。新型コロナ感染拡大防止対策として一部自動水栓への取替を行っている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P78(⑤危険箇所の把握) ・毎日3回(朝、夕方、閉館時)の日常の巡視点検で、建物の屋内外と第2駐車場を一周し目視点検等を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 毎日の点検から月次・定期・年次・法定点検まで実施することにより、危険箇所の把握を職員間で共有している。	
		①文書管理				年次報告書P79(①文書管理) ・多治見市ファイリングシステムを活用し、適正な文書管理を心がけている。 ・最新情報の文書を保管共有し、円滑な窓口業務や計画的な掲示などの情報提供に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			②環境への配慮			年次報告書P79(②環境への配慮) ・5Sの徹底による安全・安心・快適な施設づくりを実施している。 ・照明のLED化、室温湿度計の活用、こまめな消灯、扇風機・送風機の貸出活用による節電。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

			③バリアフリー	9	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②3項目の合計点とする。	年次報告書P79(③バリアフリー) ・高齢者の転倒や事故を防ぐため共有部に十分な広さと動線の確保に留意している。 ・転倒事故防止のため、来場者の多い公民館まつり・コンサートでは、ホールと研修室を、土足可として対応している。 ・階段を使えない方、足の不自由な方の利用には、洋式化した1階の和室を紹介している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・入りやすい入口に思いやり駐車場を設け、高齢者や障がい者に配慮されている。東側駐車場と中庭の通路の溝の段差をセメントで平らにした。	10点
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	④備品管理	年次報告書P79(④備品管理) ・大型楽器など利用団体の預かり備品は、年度毎に私有備品保管申請書の提出依頼をし危険物でないことを確認。 ・料理室の器具備品は利用ごとに整頓を行い、利用者向けの写真表示と一覧表を作成し活用。			適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・煩雑になりがちな料理室の器具備品は写真表示や配置表で、利用者に分かりやすく管理されている。 ・使用頻度の高い机とイスは、転倒や破損事故の予防のため丁寧な点検を行っている。		
		⑤個人情報保護	年次報告書P80(⑤個人情報保護) ・多治見市文化振興事業団の情報セキュリティに関する指針、個人情報保護方針に基づき実施している。 ・外部流出防止のため職員共通理解のもと個人情報を取り扱っている。 ・情報提供時には必ずご本人から事前承諾を得るようにしている。 ・裏紙利用は個人情報が無いことを確認し、紙ベースの個人情報やUSBメモリーは鍵付きキャビネットで保管している。 ・個人情報は必要最小限にし、取材時の顔写真等の掲載については事前承諾を得ている。			適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・人目につかない箇所で管理保管されている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の来館者名簿は保存期間を1ヶ月とし、シュレッダーをかけ適切に廃棄している。		
		⑥事故等への対応	0			事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P80(⑥事故等への対応) 記載事項は特になし。	事故なし・対応に不備なし 0点	もしもの事故等に備え、柔軟な対応ができるよう職員間で情報共有をしている。
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,138,592円÷支出23,058,628＝91.6%	100%未満 3点		3点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	事業報告書P81の管理面と事業への反映事項を参照。 【管理面】検温していない➡非接触式検温機器の設置、消毒ポンプが押せない(高齢者)➡自動ディスプレイへ取替、トイレの給水栓➡自動給水式へ取替、換気のために窓、ドアを開けているため寒い➡電気ストーブの貸出、朝一番の暖気運転の実施。 【事業面】講座実施にあたり二部制、時間短縮への切り替え、広い会場への移動、サロンの実施方法の見直しを図った。その他共有部や共有備品の定期消毒を丁寧に行った。 【要望①】体育館工事のため多治見高校剣道部の活動場所を探している【対応①】定員数、活動内容を確認し三密を避けるなど新型コロナ感染拡大防止対策をお願いし、平日の夕方の新規利用団体として迎えた。 【要望②】多治見高校探求ゼミのサイエンスショーを数回行いたい【対応②】公民館講座を3回実施。 【要望③】小中学生のボランティアの機会はあるか【対応③】養正公民館まつりの受付等の係を多治見中学校ボランティア「輝き隊」へ、クリスマスイベントのスタッフとして小学生を募集し活動の場を提供した。 【要望④】ベルマーク活動を始めるため公民館に窓口になって欲しい【対応④】ベルマーク教育助成財団の参加要項を確認し、文化スポーツ課の許可を得て参加登録を行い養正地域福祉協議会への取次を行った。 【要望⑤】中学生の取組みとして書初めを展示したい【対応⑤】2月のギャラリー養正にて展示。 【要望⑥】活動サークルの講師用に感染予防のシールドが欲しい【対応⑥】講師専用シールドを貸出	期待以上 8点	・窓口対応や利用者向けアンケートより要望を適切に把握し、対応できている。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今まで通りに開催できなくなった事業に対して「新しい生活様式」での開催に取り組んでいる。 ・地域の学校より求められた児童生徒の活動の場を公民館活動に適切に取り入れ、より良い事業展開へと繋げている。 ・養正地域におけるボランティア活動の推進計画を理解し、公民館としての役割を果たしている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情は特になし。苦情に繋がりやすい駐車場案件について、以下のことに取り組んでいる。 ・中庭への駐車は、混雑による活動中の移動が発生することを周知し第2駐車場の利用も勧めている。 ・イベント時は、養正小学校グラウンドを借りて事前対策をしている。 ・星空観望会など中庭をイベント会場とする場合、定期利用団体へ事前連絡し駐車場不足などに配慮。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・安心・安全・衛生管理(新型コロナ感染拡大防止)に努め、快適に利用できる施設を目指している。 ・公共施設点検マニュアルの目的に沿って施設の管理と地域ニーズに沿った改善を進めている。 ・省エネ・環境負荷軽減を目指し更新されていない照明や誘導灯、非常灯などのLED化を計画的に実施。 ・利用者参加型の防災訓練、避難訓練を実施し、救急対応や地域防災意識の向上に努めている。 ・年代を問わず利用しやすい図書コーナーを作り利用の向上に努めている。(絵本の充実と紹介、季節行事に合わせた図書展示、読み聞かせボランティアとの連携等) ・地域ボランティアや地域リーダーを育成する事業展開、地域の将来の担い手となる小中学生ボランティアの活躍の場をより多く創出し、将来地域活動へ参画する人材育成に努めている。(地域関係機関との連携・協力) ・高齢者が地域において健康で安心して暮らせるよう、第2次たじみ健康ハッピープランに基づいた健康づくりの推進や 交流の場を創出。 ・職員は施設に求められる変化と利用者ニーズに沿った新たな事業を提案し活性化に繋げている。 ・地域の防災・減災力をテーマに顔の見える関係づくり、年代を問わず安心して暮らせるまちづくりを地域と共に目指している。 一日も早い新型コロナの終息を願い、感謝と希望の光「ようせいイルミネーション」を飾った。	期待以上 13点	・より良い施設運営・事業実施のための提案がされている。 ・先輩ママボランティアの活躍の場の提供(読み聞かせ・子育て相談など)。 ・地域ボランティアの育成支援事業の継続、地域リーダーの発掘・育成の機会 ・子どもたちが企画から参画できる事業の推進。(小学生子どもボランティア・多中「輝き隊」、高校生ボランティア) ・軽スポーツや健康づくり、子育て支援などのサークル化を見据えた事業の推進を図り、新たな利用者の開拓している。 ・新型コロナの影響により、今まで通りに開催できなくなった事業に対して「新しい生活様式」での開催に向け取り組んでいる。	13点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施している。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし。	0点	
合計				94	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ事業運営を実施している。 ・小中高との地域団体との連携が密にできている点は特に評価できる。 ・地域ボランティア、学生の活躍の場の提供が良くできている。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、良好に行なわれている。	合計82点 良好